

自主公開研究会のまとめ 研究協議より

本校では、探究的な学習の在り方についての研究に伴って、

授業参観では、「子ども一人ひとりの姿を見取る方法」を取り入れています。

そして、研究協議では、

「子どもの姿で語る集団をめざす」というコンセプトでできています。

※ 「子ども一人ひとりの姿を見取る方法」とは

参観者には、担当児童をお伝えします。様子を参観してください。

(言動やしぐさ、友だちとのかかわり、その時間での変容などを記録しておいてください。)

本日の研究協議においても、担当児童を中心に意見をいただきたいと思います。

本日授業する指導者へ、みなさまからの「ギフト」を頂戴できればと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

このように、授業参観して下さる参加者の方にお話しし、授業後の研究協議を行いました。

第1学年

あきとなかよし ～レッツゴーあそびパーティー～

C見 「音が…」理由もつけて書いていた。どんぐりの数を増やした理由…音がよくするから自分の考えを声に出して言っていた。

H見 J見と二人で相談

J見 H見と二人で相談

的当て

どんぐりは、どうやってのりくっつくのかな？前にテープを両手をつけたのにうまくくっつかない…。どうしたらいいのかな…。

どんぐりにテープを巻いてみるといいんじゃないかな？手で持てるように、どんぐりの真ん中にはテープを巻き付けておこう。

的入れ

的入れは、コップの中に入れても、他落のところにいったのかな。近くに行くまでわからない。どっしたら鼻が見えるのかな…。

楽器

音を調えるために、どんぐりの数を減やしたり増やしたりしたらいいんじゃないかな。

その後、的当ては黒板の全面に養生テープの粘着面を上にして貼って、的のどんぐりがつくようにしました。的入れは順番を並べ替えることで完成が見えるようになりました。

第3学年

元気にスマイル大作せん

- B児** 話をひっぱる 前回成功したから 「先生に売る」
質問を考えながら… ふりかえり：自己評価ができています
- F児** 改良にこだわる
- G児** 他教科（国語）の学びを生かそうと
司会をしていた 誰に食べてもらいたいか
- I児** 家族に食べてもらいたい
先生も家族も…
- J児** 校長先生にも食べてもらいたい →地域の人 いいね。
改良するのもいいね
- K児** 出たアイデアはできなさそう（マイナス）
自分の考えを根拠をもって
地域の人 だから…自分の意見はやめようかな…
ふりかえり:次に意見をつながたい←客観的に振り返ることができていた。



地域の人をスマイルにするために、自分達がしたいことを付箋に書き出し、グループでさらにその中から意見を絞っていきました。



自分達が考える地域の人は誰なのかを確認し、その人にどんなことをしてあげたいのか考えました。

話し合いのポイントを提示。

地いきの人をスマイルにするために
こんにやくいもて何をするか話し合おう。

（プロ）
山ちゃん
かこり人
こんにやくを
食べてもらう

地いきの人
家族 先生 親小 お世話の人

自分達と
食べる
食べては
水やり
おま

ピラミッドチャートを使い、自分達でできそうな取り組みを検討しやすくする。

児童の発言から

先生や家族の人だけをスマイルにするなら、地域の人をスマイルにできていないかも・・・他にどんな人に何ができるだろう？

したいことを考える際に、1学期に自分達で取り組んだことを生かそうとしていました。また、他教科で学習したことを活かしながら、一人一人が自分の意見を言ったり、まとめたりしている姿が見られました。

第4学年

182ステーションで、いいもの売り隊！
～神石のいいこと 売ります！広めます！～

- B児 分かりやすく 相手意識
- I児 前時→課題につなげる
- K児 疑問を出したり 話し合いに入っていた

いろいろな方法



以前の活動を生かしていた

分類 → 分担
主体的

温かい雰囲気
自由に発言

何もしていない子はいない
会話

主体性 発揮するための 育成する ← コーティネート
自分の考えが書ける

楽しい

第5学年

来見の笑顔と元気とりもどし隊
～来見の町を元気にするためにできること～

- A児 付箋には書いていなかったがJ児の考えに共感
- B児 J児の考えに意見を述べていた。
付箋を動かす活動には参加できていた。
- C児 付箋を集めて、みんなの意見を聞きながら話し合いを進められた
- E児 F児と似た意見の時に、理由付けができていた。
- F児
- G児 付箋をよく書いていた
J児とともに発表に向かっていった。
- J児 よく意見をのべていた。 意見も多く話し合いをリードしていた
付箋もよく動かしていた。
- K児 おとなしくて聞くのに集中していた

△ 意見に対して、自分の意見をもつことが難しかった

自分の考えを友達に伝えながら
①自分たちの姿を見てもらえるか
②コロナに対応できるか③自分たちに実施可能な3つの条件に照らし合いました。友達の意見を大切に、できないと決めるのではなく、どうやったらできるかを一緒に考えました。

それぞれのグループで話し合った結果を、全体で交流し、共通理解を回りました。

年度当初と比べると、友達の意見を大切にしながら話し合い、合意形成をしていくのが上手になってきました。地域の笑顔と元気を取り戻すというめあてを意識して、建設的に話し合うことができました。

来見の笑顔と元気とりもどし隊
地域の笑顔と元気とりもどすための
話し合い、交流しよう。

グループで話し合う。

学習の流れを児童と考え共有する。

ルーブリックを児童と共有。

国語科や学級活動などの教科横断的な指導を意識した、ツールの活用。

第6学年

私たちの過去・現在・未来（2学期）

A児 新しい発見があった

B児 人の喜びがうれしい（小さい子とふれあうことが好き？）

うなずきが多い

E児の変わったことに対して、自分の考えと相手への尊重

C児 メモしていた。

積極的に伝えていた。

D児 テキパキ 自分は裏方が好きだと自覚

他の子の意見に対して、考えをもっていた

E児 自分の考えをもっていた

人の生き方に意見を言っていた

積極的だった

F児 B児と同じ

E児に対して質問していた

よく話を聞くことができていた

G児 自分を客観的に見ることができていた

生き方を考えられていた。

H児 振り返りの紙に付け加えていた。

キーワードが自信につながった？

I児 聞き上手（あいづち）→話し手が話しやすい

これまでのシートをみんなで見合っ、気づきを伝え合いました。お互いをよく知っているので、アドバイスもできていました。

プロジェクトを終え、反省点や学んだことから、自分の生き方にどう取り入れられるかを短冊に書いて掲示し、みんなで見合いました。

プロジェクトを振り返っている。

ループリックを児童と共有

児童の反省

G児 1学期自分の短所はすぐ落ち込むところ
授業後 堂々と自分らしく、つらいときは友達に相談しながら生きたい。

児童の記述から

この6年生の関係がずっと続くといいなと思った。

時間は、湯水のようにあるわけではなく……後何時間かを掲示して意識させます。

自分の得意なことを活かして、苦手なことは得意な人に支えてもらいながら、協力してできることを実感した6年生でした。学び得たことは、今後生きていく上でとても大切なことだと感じます。

わたしたちのまちをたんけんしよう
～ぼくたち くるみ たんけんたい！～

A児 ①何回も先生に確認 → 次何をするのか考えてできた

1回やっていたことが自信に

ふりかえり:自分の言葉で 意識づけ

㊦校長先生に伝えたい 発表したい! 何回も練習 自信・主体

B児 眠い(テンション) →テンション 人前でやろうという意欲

やる気up

一生懸命

㊦もらった感想を何回も読む

言ってもらえた嬉しさ

ふりかえり:自分も言おう!

アドバイス

他校の先生たちに緊張しながらも聞いてもらうことができ、自信になりました。

どうすれば相手に伝わるのか考えて発表しました。
長い文章を一生懸命読みました。

前時までの内容を掲示し、振り返りました。

個人の目標を決め、それに向けて活動しました。

今日することを明確にし、活動がぶれないようにしました。

アドバイスを次自分が何を頑張らないといけないのか、気づくことができました。

アドバイス
ひとりでできるような
いろんなしゃしんをみせながら
せんがみせる

最終目的の「校長先生達に発表を聞いてもらう。」ことにとても意欲的に取り組むことができた。本時の学習でも「今、校長先生に聞いてもらいましょう。」という声も聞かれた。目的意識もはっきりとしているので、自分が何を次頑張るのか発言することもできた。

児童の発言から
学習が「楽しい」という思いをもって続けてほしいと思った。